

# 女性活躍推進事業【京都府福知山市】

個別事業費	1,760 千円
交付金額	880 千円

## 地域の実情と課題

令和6年12月末現在の福知山市の総人口は74,513人、うち男性37,052人、女性37,461人、世帯数36872世帯である。また、令和3年度経済センサスによると、本市の事業所数は3,885か所、総従業者数42,198人、男性従業者24,505人、女性従業者17,545人となっている。

市内企業や事業所においては、近年慢性的に働き手が不足している現状があり、従前より、「福知山市女性活躍応援事業補助金」、「女性活躍推進セミナー（女性社員及び管理職）」、「ふくちやま女性起業応援事業」などを実施し、市内企業における女性活躍の推進を図ってきた。令和6年度実施の「男女共同参画に関する意識調査」の結果（市民1,600人対象：有効回収率51.4%）において、「女性が仕事をする事について」の問いに「結婚・出産にかかわらず仕事をするほうがよい」が52.2%で最も多かった。

## 事業の特徴

本市の働く女性及び事業所・企業の実態を踏まえたうえで、女性社員の活躍支援や管理職候補者を育成するための「メンター制度」の導入準備として、

- ①商工会議所・工業センター等と連携し、市内事業所の訪問及び面談と、メンター制度導入及びメンター候補生の推薦等についての協議を実施する。
- ②経営層・管理職・人事担当者・女性社員及び市民を対象に、女性活躍推進及びメンター制度の理解促進を目的とした講演会と、1年間の事業に関する成果報告会を開催並びに成果報告冊子を作成する。
- ③キャリアデザイン及びネットワークづくりをテーマに、働く女性を対象としたセミナーを開催する。

## 事業の効果

- ・市内事業所への訪問及び面談を通じて、女性活躍推進及びメンター制度への理解促進を図ることができ、複数社からメンター候補生の推薦予定が確定した。特に、経済団体等との連携により30社もの市内企業へ直接訪問できたことで、各事業所の実態把握が進むとともに、経営層や管理職への直接的な働きかけにより「メンター制度」の理解促進と意識醸成に極めて高い効果があったことが確認できた。
- ・講演会2回、セミナー3回の開催により、経営層・管理職・女性勤務者の意識醸成が進んだ。また、全5回のセミナー等に出席した8名を確保し、メンター育成講座受講生候補の母集団を形成することができた。セミナーの出席者に加えて、講演会参加企業等への追加アプローチにより目標の10名を達成する見込みであり、令和8年度のメンター育成講座の開催等、本格実施に向けた基盤が構築できたと評価できる。
- ・講演会（延べ44社・110名）、セミナー（延べ46社・68名）に多数の参加があり、市内事業所や働く女性のキャリア形成に対する関心の高さが裏付けられた。実際に面談やセミナーを通じて複数社からメンター及びメンティ候補生の推薦予定を取り付けたことは、本事業が単なる啓発にとどまらず、企業側の具体的な行動変容（アクション）に繋がった確かな成果だと考える。

## 目的・目標

社会や職場において、女性が本人の希望や能力を十分に発揮して活躍できる環境を整え、本市の実態に即した「メンター制度」を策定するため、実態調査・計画を行う。また、事業所やその管理職等を対象とした講演会と、働く女性を対象としたキャリアデザイン及びネットワーク作りのためのセミナーを開催することにより、女性活躍推進に対する啓発及び理解促進を図る。

	目標・KPI	目標	実績	達成度
事業目標	面談、講演会等の開催数の合計（面談10回・講演会2回・セミナー3回）	15回（アウトプット）	35回（8年3月時点）	233%
事業KPI	メンター育成講座受講希望者	10人（アウトカム）	8人（8年3月時点）	80%

## 連携団体

京都府、福知山市産業部、福知山市子ども家庭部、福知山商工会議所、福知山商工会、長田野工業センター、アネックス京都三和連携室、福知山市企業人権教育推進協議会

## 今後の課題

- 実態把握は実施できたが事業参画につながらなかった事業所も含め、今後のセミナー等への参加や社内からメンター候補生を推薦できるような事業所を継続して発掘することが必要である。特に、訪問30社のうち一部は見送り・検討中にとどまっておき、継続的なアプローチが求められる。
- 「メンター」として認定するための要件や、認定後の活動内容等の制度設計を令和8年度中に確立する必要がある。また、今後本格導入するメンター制度において、企業内メンター育成型と派遣型メンター制度の2案のどちらを軸にして進めるかを整理する必要がある。
- 社外メンター派遣制度を、令和8年度2社、令和9年度5社、令和10年度8社、という計画通りに拡大するためには、各年度のネットワーキングフォーラムでの企業募集を確実にに行い、派遣先企業の確保と質の担保を両立させることが必要である。
- 各事業の広報や周知について、現状は商工会議所・商工会等の経済団体を通じた周知が中心であり、商業施設・飲食店・医療・福祉分野等、多様な業種の女性勤務者へのリーチが不十分である。SNSや広報紙を活用した情報発信の強化が必要である。
- 令和7～10年度の4年間の成果を活かし、令和11年度以降に「福知山市メンターネットワーク」を立ち上げるために、令和10年度中に以下の準備を進める必要があると考える。
  - ・メンター認定者を中心とした自主的な学習・交流の場の設定
  - ・メンター制度導入事業所による未導入企業への支援・学習会の実施
  - ・女性団体・NPO等との連携による持続可能な運営体制の検討

# 事業の概要

## キックオフセミナー

### 経営戦略としての女性活躍推進 ～いま、本当に必要な取り組みとは～

経営者、管理職、人事担当者、女性社員などあらゆる層の皆さんと、女性活躍を加速させる実践的な取組を学びました

**開催日時** 2025年7月22日(火) 13:00-15:30

**開催会場** 市民交流プラザふくちやま 市民交流スペース

**対象** 企業経営者 経営層 人事担当者 女性社員 このテーマに関心のある市民

**講師** 株式会社ICB 代表取締役 瀧井智美

**参加者** 60名



FUKUCHIYAMA  
KICK OFF



## キックオフの内容

- 1 いま、なぜ女性活躍なのか？
- 2 本当に必要な取組とは？
- 3 推進に必要なこと ～共有・学び・実践へ～



女性活躍推進法が施行されて10年。

改めて今なぜ女性活躍推進が必要なのかを理解し、取組に必要なことを先進事例や効果的な施策を交えて紹介しました。その中で「どのような取組が効果的か?」「自社には何が必要か?」を経営者、管理職、人事担当者、女性社員など、あらゆる層の皆さんと対話し、お互いに学びました。

福知山市の女性活躍を加速させる実践的な取組につなげていくために全員でこれからを考える時間になりました。



## 副市長メッセージ / 渡邊尚生 (男女共同参画推進会議会長)



国において「女性活躍推進法」が延長されるなど、企業における女性の活躍は、これからの経済成長の大切な柱となっています。

福知山市におきましても、誰もが自分らしく働き、活躍できる社会をめざし、働く女性のスキルアップやネットワークづくりを応援する「女性活躍推進事業」を立ち上げました。

真の女性活躍を実現するためには、市内企業の皆様のあたたかいご理解とご協力が欠かせません。一人ひとりの能力を最大限に引き出す組織づくりが、地域の未来の成長につながると考えております。

今後とも、誰もが活躍できる地域社会の実現に向け、皆様とともに歩んでまいります。

## 参加者コメント

- ・福知山が本気で女性活躍に取り組むことがわかり、これからも参加したい。
- ・事業所の代表者や様々な方と意見交換するよい機会だった。
- ・女性に期待し、機会を提供し、活躍の場を応援していきたい。
- ・皆さんと学びあいながら自社に最適の具体策を見つけていきたい。
- ・今後の取組にも参画していき、女性活躍を進めたい。
- ・行政や企業が同じ方向をめざしながら一緒に取り組んでいきたい。
- ・アンコンシャスバイアスやジェンダーギャップについて考えるいい機会になった。
- ・課題意識を持って福知山全体で取り組む姿勢を、今後もみんなで高めていきたい。



# 事業の概要

## 働く女性向け研修

### キャリアデザインとネットワークづくり

福知山市で働く女性が組織の枠を超えて集い、学びあいました



**開催日時** 2025年9月12日(金)・10月9日(木)・11月11日(火) いずれも 13:30-16:30

**開催会場** 1・3回目 福知山市消防防災センター 防災研修室

2回目 市民交流プラザふくちやま 視聴覚室

**対象** 福知山市で働く女性

**講師** 株式会社ICB 代表取締役 瀧井智美 **参加者** 延べ68名

**コーディネーター** 登壇 ・梅小路ホテル京都総支配人 松井美佐子さん  
・株式会社堀場製作所理事管理本部副本部長・グローバル人材センター長 森口真希さん

女性が自分らしく働き続けるには、キャリアデザインや自分らしいリーダーシップの発揮に必要なことを学び、どのように働くかを考えることが大切です。また、ロールモデルとの出会いや社外とのつながりも力になります。3回の研修会では、講義とグループワークを通じ、女性が自分らしく活躍するための「マインド」と「スキル」を高めました。単発ではなく、3回の連続した研修だからこそ、福知山で働く女性同士のネットワークの構築にもつながりました。

#### 1回目：キャリアデザイン

1 キャリアとは何か？

2 自分を支援するネットワークを広げよう！



#### 2回目：自分らしいリーダーシップを見つけよう！

1 多様なリーダーシップのあり方

2 自分の強みや影響力を考える



#### 3回目：ロールモデルセッションと交流会

1 キャリアとは何か？

2 自分を支援するネットワークを広げよう！



#### 参加者コメント

**1回目**

- ・何か大成したことでなくても「キャリア」と考えられることがあると気がついた。
- ・自身を振り返り、また必要なことを自分で知ることができた意味は大きい。
- ・身につけてきたことや、今後身につけたいことについて考えられ前向きになった。
- ・自分について考える良い機会になった。
- ・他の方のお話を聞く機会はあまりないので、グループワークで話しあいをして働き方について考え方が変わった。
- ・子育てでキャリアややりたいことを諦めない。
- ・研修に参加することで、今後のキャリアへの意識が高まった。
- ・この研修を企画して、連続で開催して下さることがありがたい。

**2回目**

- ・普段している行動が「リーダーシップ」になるんだと気付いた。
- ・自分らしさや強みを用いて、組織全体に与える影響力を高めてきたい。
- ・もっと私らしいリーダーシップを発揮していきたいと思った。
- ・今日の学び「組織観」「リーダーシップ観」を社内のメンバーにも伝えたい。
- ・みなさんのイキイキとした笑顔に囲まれて、すごく前向きな気持ちになった。
- ・福知山にこんな素敵な女性がたくさんいてつながれて嬉しい！
- ・それぞれの組織の中で奮々とお仕事されている女性たちが、こうして横でつながってエンパワーし合えるとすごく強い。

**3回目**

- ・女性リーダーとして大切にしていること、苦しくてしんどいときに、どう自分の機嫌を取り戻すかなど、働き続ける中で大切なことを考える時間になった。
- ・社外メンターがいることで、1人で抱えず安心して整理して次に進んでいけること、キャリア形成の力になることを学んだ。
- ・女性のキャリア形成、「自分で自分にプレーキをかけていないか？」という問いかけが心に響いた。
- ・子育てをしながらの管理職。違う経験、違う立場だからその価値、ダイバーシティが組織に重要だからこそ、自分ができていることを考えるきっかけになった。
- ・私もメンターとして、ロールモデルとして、みんなに勇気を与える存在になっていきたい。



# 事業の概要

## ネットワークワーキングフォーラム

### 福知山市女性活躍推進事業の成果報告と今後の展開に向けて

経営者、管理職、人事担当者、女性社員などあらゆる層の皆さんと女性活躍を加速させる実践的な取組を学びました

**開催日時** 2026年2月13日(金) 13:30-16:00

**開催会場** 市民交流プラザ ふくちやま 市民交流スペース

**対象** 企業経営者 経営層 人事担当者 働く女性向け研修受講生 このテーマに関心のある市民

**ファシリテーター** 株式会社ICB 代表取締役 瀧井智美

**参加者** 50名

## ネットワークワーキングフォーラムの内容

- 1 今年度事業の成果報告
- 2 ワークショップ ~3者(女性、経営者・管理職、行政)それぞれに必要なこと~
- 3 2026年度にスタートするメンター事業について



福知山市内の企業での女性の活躍を加速させるため、福知山市では2025年度から様々な取組をスタートさせました！ ネットワーキングフォーラムでは、今年度のキックオフセミナーや働く女性向け研修に参加いただいた企業や受講者はもちろん、次年度から参加を検討されている企業やこの取組に関心をお持ちの皆さんと、大橋市長も参加して、福知山市全体で組織の枠を越え、女性活躍を加速させるための新たな一歩や発展させていくヒントを学びました。



## 参加者コメント

- ・男女共に、そして経営者や市長も共に学べたのが良かったです。
- ・それぞれの企業が働きやすい職場づくりを意識されていることに感心しました。
- ・自分たちもまだまだやれることがあるとたくさんヒントをいただきました。
- ・こういう学びあいの機会がとても大事なんですね。次年度も参加します。
- ・女性に限らず働きやすい環境づくりと、働きがいのある機会提供が大事だと感じました。
- ・女性活躍推進が福知山市にとって持続可能な地域づくりにつながるとても大事な取組だと再確認できました。
- ・現場の課題を聞ける風土をつくることで、より課題に合わせた取組になると感じています。
- ・リーダーシップにおける捉え方を学び直して、個性に合わせたポジションでのリーダーシップを見つけてあげることが大事だと感じました。
- ・女性だけではなく、全員で考えてともに行動していけることで大きなうねりを作り出したいです。
- ・メンターという存在を知らなかったので、相談相手を作ることがキャリア形成に有効であることがわかりました。
- ・来年からメンターが福知山に増えることで、具体的な変化が始まるんだと思いました。
- ・メンターとロールモデルの大切さを改めて思いました。2026年度の取組が楽しみです！
- ・自分も誰かのメンターになりたいと思った。社員とのコミュニケーションを密にとり、互いを励まし合って成長し合える環境をつくりたいです。



**女性活躍推進の取組**  
福知山市が今年度からスタートした「女性活躍推進事業」の成果報告と、今後の展開に向けての取組について、経営者や管理職、人事担当者、女性社員などあらゆる層の皆さんと実践的な取組を学びました。大橋市長も参加して、福知山市全体で組織の枠を越え、女性活躍を加速させるための新たな一歩や発展させていくヒントを学びました。



再丹日日新聞社提供  
2026年(令和8年)2月19日掲載



**女性活躍について意見を交わす参加者たち**  
「女性活躍推進事業」の成果報告と、今後の展開に向けての取組について、経営者や管理職、人事担当者、女性社員などあらゆる層の皆さんと実践的な取組を学びました。大橋市長も参加して、福知山市全体で組織の枠を越え、女性活躍を加速させるための新たな一歩や発展させていくヒントを学びました。